

入院診療計画書(頸部手術を受けられる方へ)

ID番号 @PATIENTID
病名（他に考える病名）

氏名 @PATIENTNAME 様
症状

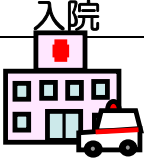
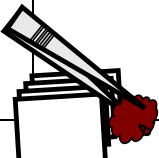
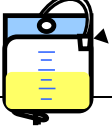
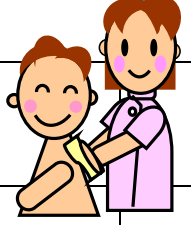
@PATIENTWARD 病棟 @PATIENTROOM 号室

担当医師 @USERNAME

担当看護師

担当薬剤師

その他担当者名
@SYSDATE

月日							
経過	入院日(手術前日)	手術日(術前)	手術日(手術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目・退院日
目標	手術の必要性が理解できる 手術への不安が軽減できる		術後安静が守ることができる 麻酔から覚め全身状態が安定する	創部からの出血がない	出血がない 痛みがなく食事ができる	創部の感染がない	退院後の生活(活動、仕事、清潔、食事など)に不安がない
検査				採血をします			
治療			創部に管が1本入っています	食事ができれば 点滴を抜きます			
処置				処置室で創部の処置をします	→	創部の状態に応じて創部の管を抜きます	創部の状態に応じて、外来で抜系します 創部に医療用バンドを使用した場合は抜系はありません
観察		 	術後体温、脈拍、血圧を測ります	創部からの出血、感染の有無、 創部の管の量を確認します	→		
注射・内服	薬剤師と看護師が持参薬の確認を します 必要時は一時内服薬を預らせて いただきます		点滴をします 抗生剤の点滴をします 痛み止めを準備していますので 痛みがある時はお知らせ下さい	医師の指示が出てから持参薬の 内服を再開します			
食事	通常の食事が出ます ()時まで食事ができます ()時まで水分がとれます その時間以降は飲食をしないで下さい		部屋に戻ってから医師の許可があれば お水が飲めます 食べる事はできません	今日から食事ができます (お粥から始まります)			
清潔	入浴をします			体拭きを行います			創部の管が抜けた後で、創の状態に応じて 首から下のシャワーができます (洗髪は医師の指示によります)
行動	特に制限はありません		尿を出す管が入っています ベッド上で安静にします	朝尿管を抜いた後はトイレまで 動けますが、最初は看護師が付き添います	自由に動けます		
説明	主治医から手術についての説明が あります 手術室の看護師・麻酔科医からも 説明があります		手術後の説明があります				普段の生活で気をつけることや次回の 受診日等について説明があります 退院後も痛み止めを必要とされる方は 前もってお知らせ下さい

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

注3) 特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合、食事の欄に記載してもよい。

福島県立医科大学医学部附属病院 バス承認番号 (No.170) 承認月日 (平成25年2月27日)

特別な栄養管理の必要性	有 ・ 無
-------------	-------

上記内容について説明を受け同意いたしました署名：

続柄：